

提出日 2023 年 10 月 15 日

海外留学成果報告書

【参加者A】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
受講期間	西暦 2023 年 9 月 10 日 ~ 2023 年 9 月 17 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私が、今回の海外施設研修に参加した目的は、留学というものを経験してみたかったというのと、今後必要となってくる理学療法の知識を深めたかったからです。また、3回生、4回生となったとき見学する日本の病院施設やクリニックなどの比較対象としての知識として、今回の海外施設研修に参加しました。これらを終えた経験から、私は、医療英語の学習に力を入れようと目標を掲げました。英会話での受け答えという点では、不十分な点も多く見られましたがなんとなく意思疎通を図ることができました。ただ、医療英語を話されている時、どこのことを説明しているかわからなく、聞きたい質問がうまく伝わらないことが多くありました。医療英語を、もし今よりマスターしていたら、実習もスムーズに進んだのではないかと考えられたので、実習を終えての目標は医療英語の学習です。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	現地での活動内容としては、実習が4日間あったので、朝から大学の附属病院の方にお世話になり、夕方5時まで実習がありました。夕方以降は、中山医療大学の学生さんに台湾の台中市内を案内していただきました。実習では、患者さんとPTの距離が近く、かなりラフな空気感で、リハビリに取り組んでいるのが見て取れました。そこに、4日間近く、色々なリハビリについて見学させていただきました。実習終了後、台中市内を案内していただいたときは、ご飯を夜市もしくは、屋台ですませて(台湾ではご飯は基本外食らしい)色々な遊びや場所に連れて行ってもらい、沢山の経験をさせていただきました。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の留学の成果として、一番大きかったのは自分のなかで、モチベーションが向上したということがあります。具体的な例としては、授業を受ける態度が変わりました。発表の機会があれば発言できる機会が増えました。何より、メモを取る機会が劇的に増えたと感じます。これは、留学先の実習中にメモを取っていたという行動が、少なからずクセづいて継続できている結果なのではないかと考えました。また、実習先で学んだ器具や、患者さんの判定方法が授業中に出てきたときなどは、経験などが合ったり、より深い理解をできていると実感できます。これらのことより、目標の達成度としては、多くの学びや経験をつめたということもあり、かなり満足のいく結果となりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の留学経験は私の人生の1つの大きな思い出になりました。ここで学んだことは、わからないことは聞かないと伝わらないということと、コミュニケーションの大切さです。日本語を使えないからこそ、自分から積極的に質問していかないと話が進まないし、沈黙が続いてしまうということを感じました。自分が質問した内容については、熱心に教えてくれたり、体験できる器具などがあれば体験させてもらったりなど、実習先ではかなりコミュニケーションの大切さを感じました。だから、言葉の通じる日本では、台湾の実習先で実践していたように質問やコミュニケーションにしっかり取り組んで理解を深めることに努力したいです。
5. 自由記述	悩んでいるのであれば留学に行くべき！

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 10 月 31 日

海外留学成果報告書

【参加者B】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
受講期間	西暦 2023 年 9 月 10 日 ~ 2023 年 9 月 17 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標	今回この留学に参加した理由は、台湾という日本と違った環境や日本では見ることができない治療を視察し、より多くの経験を積んで、今後幅広い視野で理学療法に携わりたいと思ったからだ。また、目的としては日本の理学療法との違いを知ることや、これからの学習につなげるためだ。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	1週間の研修期間で、1日目は現地の学生と交流し、2日目からは施設研修を行った。施設研修は合計4日間行い、現地や実習生の方々に器具の説明や治療内容を教わった。6日目は、市内観光を行い、自分たちで調べた観光施設や飲食店へ行った。7日目は、現地の学生の方々が有名な観光地から、あまり知られていない観光地までたくさん場所に連れて行っていただいた。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	研修中の会話はほとんどが英語で、日常的な会話や簡単な英会話ではできたが、医療英語や難しい単語など翻訳アプリを使わないといけなかった。現地の実習生も研修中に教えていただいたため、あまり時間をかけずに済ませることが重要だった。4日間という短い時間だったが、初日よりスムーズに会話ができるようになった。また、言語を問わずコミュニケーションをとることができる現地の実習生に感銘し、重要性を知った。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の海外施設研修に参加して実際に臨床に出ることで、授業で習った内容の重要性を知るいいきっかけになった。また、日本の理学療法との違いも多く見られ、今後の日本での実習や授業のモチベーションにもつながった。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2023 年 10 月 25 日

海外留学成果報告書

【参加者C】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
受講期間	西暦 2023 年 9 月 10 日 ~ 2023 年 9 月 17 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標	留学を希望した一番大きなきっかけは友人の誘いでした。また、両親からも強く勧められました。両親が勧めた理由には、海外の施設に研修できる機会が少ないのでいい勉強になるとのことでした。目的に関しましては、海外の施設と日本の施設の比較が一番の目的です。他にもはじめての海外なので、日本と海外の文化などの違いについての比較をすることも目的の一つでした。目標に関しましては、翻訳アプリを使わずに現地の方とコミュニケーションをとることを目標にしていました。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	主な活動は、海外の病院での研修です。研修内容はバイタルや、エクササイズ、呼吸器系など、さまざまな分野に分かれて、4日間見学をして学びました。基本的には現地の実習生がマンツーマンで私たちに器具の説明や疾患の説明、治療の方法などを教えていただきました。実習以外では、台中市を散策していました。実習終わりに現地の学生に夜市へ連れて行っていただいたり、ショッピングセンターに連れて行っていただいたりしていました。
3. 留学の成果 (・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	目標の達成度に関しましては、日本と台湾の施設の違いについて比較するということでしたが、台湾はほとんど日本の理学療法と似ていました。また、見学をしている中で、現地の患者様とコミュニケーションをとる場面があったのですが、その中で特に高齢者の方々が、日本語を話せる方が多くて驚きました。日本と台湾の文化の違いにつきましては、日本では自宅にキッチンがあることが当たり前ですが、台湾はキッチンがない自宅が多いそうで、基本的には朝昼晩と外のお店でご飯を食べることに驚きました。他にも台湾では移動手段として、バイクで移動する人が多く見受けられました。現地の学生に聞いたところ、日本では自転車が移動手段として多く使われているが、台湾では自転車が少なく、バイクで移動する人が多いそうです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	どのようなことを今後生かしたいかという、今回は初めての海外だったので、日本以外の文化を知らずに生きてきました。だから台湾でしたいことは、日本語以外の言語でコミュニケーションをとることを目標の一つとして渡航しました。実際に台湾の現地の方とコミュニケーションを取ろうとしましたが、中国語は何も聞き取れませんでした。挨拶やお礼程度の会話だけできました。しかし、台湾では英語が話せる人がいたので、英語での会話にチャレンジしたところ、日常会話程度ならできたので、とても自信になりました。この経験を今後の人生に活かしたいと思います。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

《留学前後における意識調査》

留学前後における意識の変化を比較し、留学の成果を検証することを目的に、出発前・帰国後に下記のアンケートを実施。

1. あなたの英語能力についてお伺いします。(英語コミュニケーション能力)

- 全体的な英語のコミュニケーション能力に自信がある。 ()
- 特にリスニングの(聞く)能力に自信がある。 ()
- 特にスピーキングの(話す)能力に自信がある。 ()
- 特にライティングの(書く)能力に自信がある。 ()
- 特にリーディングの(読む)能力に自信がある。 ()

2. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。(自己効力感)

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的な英語を使うことができる。 ()
- ライティング(文書作成、理論的思考)の基本を身につけている。 ()
- 英語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係(リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む)を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

3. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。(異文化意識)

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

4. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。(キャリア展望)

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事が決まっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のためにどのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

アンケート 回答選択肢

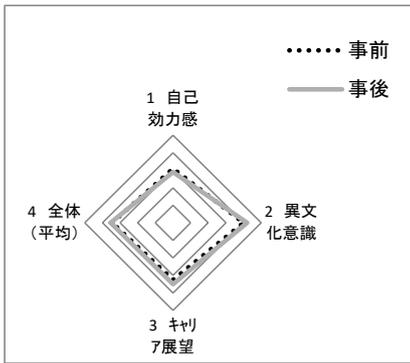
1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

2023年度前期 海外施設研修 参加前後における意識調査アンケート結果

対象者:3名

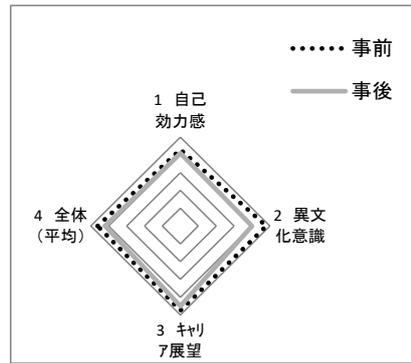
【参加者A】

	事前	事後
1 自己効力感	3.1	2.9
2 異文化意識	4.0	4.2
3 キャリア展望	3.3	3.5
4 全体(平均)	3.5	3.5



【参加者B】

	事前	事後
1 自己効力感	4.3	4.1
2 異文化意識	4.8	4.0
3 キャリア展望	4.8	4.5
4 全体(平均)	4.6	4.2



【参加者C】

	事前	事後
1 自己効力感	2.5	4.1
2 異文化意識	5.0	5.0
3 キャリア展望	3.3	3.3
4 全体(平均)	3.6	4.1

